

Title	欧洲戦争と植民地問題
Sub Title	
Author	堀切, 善兵衛
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1915
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.9, No.10 (1915. 10) ,p.1099(23)- 1120(44)
JaLC DOI	10.14991/001.19151001-0023
Abstract	
Notes	論説
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19151001-0023

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

語を省略し忌憚なく斟酌なく予の言はんと欲する凡てを卒直に筆録し得たり。著者一讀過孺子教ゆ可しと爲さば希くは叱正の勞を惜むこと勿れ。此一事を至囑して茲に擲筆す。

追白 隱居論の書問題を揭示する極めて多く予が本文に論ずる所は僅かに巻頭并に巻尾の數章に止る。他日若し推考の熟する時あらば爾余の問題に就ても亦た論説することある可し。序に申す、穂積博士は本論連載中屢手書を予に賜ひ懇篤に注意し優渥に奨勵せられたり。特に記して重れて深謝の意を表明し併せて初めに隱居論の書に予が注意を催されたる河上博士の厚意を謝す。

(四年九月八日記す)

歐洲戰爭と植民地問題

堀切善兵衛

戰爭は或意味より云へば有らゆる社會組織及國家制度の試金石なりと云ふを得可し。何程高遠な理想に原きたる制度組織なりと雖も今日の實際世界に於て一旦緩急あるの時外部よりの一撃に由りて土崩瓦解し去るが如きものなるに於ては決して推奨す可きものに非ず。況んや後進國に於て採りて以て其範と爲すに足らざる也。

植民地は如何に之を統治す可きか。本國と植民地との關係は如何にす可きや。植民地に於ける原住民は如何に之を取扱ふ可きか。植民地に於ける兵役問題は如何に之を處分す可きや等の點に關しては今日に至るまで植民政策の研究者に取りて最も重要な點として認められ、各國の學者政治家等に依りて熱心に研究せら

れたる所なりき。而して今回の歐洲戦争は此等の問題に對し參考に資すべきもの少なからず即ち從來歐米の學者政治家等に依りて論難攻究せられたる其結論に對し終局の證明を與ふるものあり或は其結論の誤れるを語るものあり兎に角に將來の植民問題を研究せんとする者に取りて今回の歐洲戦亂は極めて有益なる試金石なりと云ふを得可し。

植民地の獲得及維持の爲めに海上權を掌握するの肝要なるは過去の英佛、西蘭諸國の經驗に依りて充分に立證せられし所なるが今回も亦明白に此事實を裏書したり、即ち獨逸は歐洲大陸に於て連戰連捷の勢なるも亞細亞、亞非利加、南洋等に於ける植民地は殆んど總て英國若くは其同盟國の征服する所となれり。されば露西亞が西比利亞を領有しつゝあるが如く直ちに陸地に依りて連結せらるゝ場合の外は海上權を敵手に委せんか殆んど一日も其植民地を維持するの不可能なるを知らざる可らず、過去の歴史に於て西班牙、葡萄牙は斯くして其植民地を喪失したり、佛國は北米及東洋に於て同じく英國に敵すること能はざりき、而して今又獨逸は同一理由に依りて英國の爲めに其海外所領の殆んど全部を喪失するに至ら

んとす。然るに海上權を掌握しつゝ有る英佛兩國は常に其植民地の上に何等の不安を感じざるのみならず、却て植民地より本國防禦の爲めに應援を受けつゝある有様なり。即ち佛國は「アルゼリア」土民軍を招致して本國兵の不足を補ひ、英國は加奈陀、濠洲、印度等より應援を得て今回の戦争に従事しつゝあるは、世人の知悉する所なり。而して英國の所謂三大自治植民地、中南亞聯合のみは未だ歐洲に出兵せざるが如しと雖もこは獨領東西亞非利加を征略するが爲めに今日まで多忙たりしが爲めに外ならざれば是等事業其緒に着くや當年南亞の勇將「ボード」將軍自ら歐洲大陸に出陣するに至らざるを保せざる可し。吾人は他日機會を得て更に詳しく歐洲戦争と英佛植民地が之に参加して本國の爲めに努力したる其程度とを論述すること有る可し。唯茲には植民地が本國防禦の爲めに血と金を投じて惜まざるが如きは近世の世界植民史に於て特筆大書す可き事實なることを指摘せんと欲するものなり。蓋し古代羅馬「カエーザ」等の植民事業に銳意したりし時代には一旦緩急あるに際し其植民地より壯丁を徵集して本國の用に供せんと意思を以て最初より其植民事業を経営したりしは云ふまでも無き所なりしも近世西

葡、蘭、佛、英諸國の植民事業は主として經濟上の發展を主眼と爲し兵士の徵集は植民自身の防禦を目的としたる以外には決して是等諸國の眼中に存せざりしや明かなり。否な本國は絶へず植民地の防禦の爲めに海陸軍を動かさざる可らず其負擔亦容易ならざりしは近世史上に明かなる所にして之が爲めに世の思想家中には「植民地は恰も不良少年の如し」ungezogene, frechen Kinderとの説を爲すものありき。蓋し母國は平時に於ては勿論戰時に於ても植民地の爲めに非常の犠牲を支拂はざる可らざるに拘らず植民地は毫も其母國の監督と犠牲とを徳とせざるのみならず成る可く母國の束縛桎梏を脱して獨立自治を欲する傾向あり又實際に於ても縱令本國を離れて獨立するに至りたる例は稀なりとするも内治の上に於て完全なる自治制度を享有して殆んど獨立國に髣髴たる形を爲すもの少なからず、同時に本國が是等の植民地を獲得するに際し多大の犠牲を支拂ひ本國人の血と金とを以て之を購ひたるに非らざるはなき有様なれども從來植民地より進んで本國の急を救はんが爲め出兵したるが如き例は殆んど少なく。僅かに普佛戦争に際し「アルゼリア」植民軍の應援ありしと南亞戦争に際し加奈陀濠洲等より出兵した

る位に止まり然も之れさへ極めて少規模の出兵に過ぎざりしが故植民地が本國を助けたる其程度は本國が植民地の爲めに平素支拂ひつゝある其犠牲の大なるに比すれば九牛の一毛だにも如かざりし也。されば「アルフレット、チムマーマン」が植民政策中に於て

Es sei wahnsinn von ihnen Dankbarkeit zu erwarten. Selbst die geschickteste Erwartung stille nicht den Durst der Kolonisten nach unabhängigkeit. Sie würden immer unzufrieden bleiben, wenn das Mutterland ihnen auch noch so grosse Opfer bringe, und ihre Interessen noch so sehr wahrnehme. Gegenüber dieser natürlichen Neigung der Bevölkerungskolonien gebe es nur zwei auswege: Gleichstellung mit den mutterlande oder reines Bundesverhältnis mit Gewährung voller Selbstregierung.

と論じたりしもの決して偶然に非らざりしなり、然るに今日の現状に於ては英佛の植民地は其最も發達したるものに於ても未だ充分に本國と平等の地位に立ち若くは自治制度を與へて本國と聯邦の形式を取ると云ふ點まで進み居らざるに拘らず今回の戦争に際し孰れも愛本國心を發揮し應分の助力を爲すものなることを立證したり。而して將來本國と植民地との關係が尙一層緊密なるに至らんか

更らに一層本國の爲めに有力なる働きを爲すに至る可きことも想像し得ざるに非ず、殊に今後戦局の進むに従ひ本國は益々困難の地位に立つ可きは云ふまでもなき所にして此際に於ける植民地の戦争参加と協力とは愈々本國の推奨し尊重する所となり遂に平和克復の後には植民地の地位を今一段上進せしめずして止まざる可し。果して然らば「チムバーマン」の所謂 Gleichstellung mit den Mutterlande oder reines Bundesverhältnis mit Gewährung voller

Selbstregierung の實を擧ぐるに至るや否やの問題も今回の戦争に關し是等植民地の参加の程度と其努力の如何に在りと云はざるを得ず。從來の如く植民地が唯徒らに母國の負擔たるに過ぎざるに尙ほ本國と同等の地位に立たざる可らざることを主張するに於ては世上の識者より所謂 Ungezogene, frechen Kinder の名を附せらるも致方なき次第なりと雖も凡そ一家の大事に臨み有力なる働きを爲すの事實顯著なる以上誰か之を不良少年視するもの有らんや。

二

斯の如き事實を北米合衆國が本國に背反して獨立を宣言せる當時と對照せば

其間に雲泥の相異存するを認めざるを得ざる可し。當時十三洲の植民地は本國が佛國及加奈陀に對して前後數年の戦争に従事し是れが爲めに多大の負債を生ずるに至り其負擔の一部分を北米植民地に轉嫁せしめんとしたりしを肯せずして遂に反旗を翻すに至りたるは史上に明かなる所にして北米植民地人民の思想よりせば本國が其植民地の爲めに或は戦争に従事し或は負債を増加するが如きは當然の事態なれども植民地が本國の爲めに戦争に従事し若くは其負擔に任ずるは思ひも寄らぬ所なりしなり。蓋し當時歐洲諸國の其植民地を視るや偏に本國の經濟的利益を主眼となし之に原きて其植民政策を樹立したるが爲め植民地人民は平素母國に對し十二分の犠牲を支拂ひつゝありと感じ、本國は此利益を防禦せんが爲め外敵と戦ふ次第なれども植民地自らは其戦争に關し格別の利益を認めず、唯或植民地が佛蘭西其他の植民地より直接攻撃を蒙る恐れありし場合には自ら起つて其戦争に従事せざる可らずと雖も然も進んで本國に出兵するが如きは思もよらず、否己れ自らの防禦も常に本國の應援に依りて初めて敵に捷つを得たりしなり。さりながら植民地に於て本國の救援に對してさへ殆んど何等感謝の念な

りし事實は舊來の讎敵たる加奈陀が遂に英國の爲めに征服せられ最早米大陸に於て恐る可き何物も存せざるに及んでや忽ち本國に背きて獨立を企てたるに因ても之を知るに難からざる可し、換言すれば一方には餘りに本國主義にして其植民地人民の權利と利益とを母國の蹂躪に委したりし政策に對し植民地に於ける不快の念は年と共に増加するものあり、他方には英帝國の共同防禦に要したる其費用は植民地に於ても尙ほ之を負擔せざる可らずとの本國民の意思とが互に融和するを得ずして遂に十三洲の獨立を見るに至りたる次第なり。而して本國及植民地に於ける是等意思の沮隔漸く著しからんとするや之を憂へたるもの少なからず。即ち制度の改革に依りて兩者の一致點を見出さんと欲したる其論者中には Jasiah Tucker: Adam Smith 等の名士ありて前者は既に多數の人口に達したる國民の決して其意思に反して支配せられ得可からざることを論じ英國國民は須く北米植民地に與ふるに絶對の自由を以てす可し、而して本國は兩國の交通貿易に依りて得る所の商業上の利益のみを以て満足せざる可らずと主張し。後者は其名著富國論中に於て詳細に此等問題を論議する所ありたりしが吾人は多大の興味を以て

偉大なる此學者の植民地觀を伺はざるを得ず。而して彼の論旨は當時の事狀に照し極めて徹底せるものなりしと同時に今日に於ても立派に實際政策の上に適用せられ、又將來英國の植民政策の發達す可き其方向を指摘したるものなりと云ふを得可し。即ち彼は英帝國全體の防衛の爲めに必要止むを得ざりし費用に就きては其植民地も之を負擔するの義務あるを論じて曰く。

It is not contrary to justice that both Ireland and America should contribute towards the discharge of the public debt of Great Britain. That debt has been contracted in support of the government established by the revolution, a government to which protestants of the land owe, not only the whole authority which they at present enjoy in their own country, but every security which they possess for their liberty, their property, and their religion; a government to which several of the colonies of America owe their present charters, and their present constitution, and to which all the colonies of America owe the liberty, security, and property which they have even since enjoyed. That public debt has been contracted in the defence, not of Great Britain alone, but of all the different provinces of the empire; the immense debt contracted in the late war in particular, and a great part of that contracted in the war before, were both properly contracted in defence of America. (Wealth of Nations; P. 756-757.)

管に之のみならず「アダム・スミス」は英本國と米植民地とを全く對等無差別の地位に置き植民地の人口と其租稅負擔額とに比例して議員を選出し之を本國議會に送らしむ可く。若しも米植民地の人口と租稅の收入とが本國を凌駕するの曉には英帝國政府を米大陸に移す可きものなりとるゝ主張したり。

There is not the least probability that the British Constitution would be hurt by the union of Great Britain with her colonies. That Constitution, on the contrary, would be completed by it, and seems to be imperfect without it.

We, on this side of the water, are afraid lest the multitude of American representatives should overturn the balance of the constitution, and increase too much either the influence of the crown on the one hand, or the force of the democracy on the other. But if the remembrance of American representatives were to be in proportion to the produce of American taxation, the number of the people to be managed would increase exactly in proportion to the means of managing them; and the means of managing, to the number of people to be managed. The monarchical and democratical parts of the constitution would, after the union, stand exactly in the same degree of relative force with regard to one another as they had done before. (Wealth of Nations. P. 487).

Such has hitherto been the rapid progress of that country in Wealth, populations and impro-

vement, that in the course of little more a century, perhaps the produce of America might exceed that of British taxation. The seat of the empire would then naturally remove itself to that part of the empire which contributed most to the general defence and support of the whole. (Wealth of Nations P. 488)

「スミス」の論や天空海淵公明正大を極むと云ふ可し然も彼の議論の實行を當時に期するは元より望んで得可からず。遂に北米合衆國は本國より分離するに至りたれども爾來幾星霜本國と植民地との協力主義は極めて徐々に彼の理想に向つて進行せんとするものゝ如し。されば眞理は遂に永遠に其光りを失はざるものと評せざるを得ず。今回の歐洲戦争は云ふまでもなく英國が從來占め來りし世界の覇王たる其地位を維持するを得るや否の問題を解決す可き一大試金石なり。英人種が從來の如く世界に雄視するを得可きか將た獨逸民族が取りて之に代るに至る可きやの爭覇戦なり。從て英帝國全體の defence and support の問題にして大陸の戦争に於て英國一度屈せんか加奈陀、濠洲、南亞は勿論其他の小植民地は將來英語を話し英國流の文明に追従するを得るや否や頗る疑はしきに至る可しと想像せざるを得ず。從て此戦争の爲めに各植民地が應分に其本國を援助するはやがて植民

地自らを防禦する所以に外ならざるなり。而して本國を援助すること多ければ多きだけ平和回復の後に於て其植民地が重きを爲すに至る可きや又言を俟たざる所なる可し。されば吾人は今日加奈陀及印度遠征軍が西部戰場に於て英佛聯合軍に互して相當の働きを爲し、濠洲軍がダルダネルスに向つて惡戰苦闘を爲しつゝあるが如き將た南亞軍がボーダ將軍の統帥の下に獨領東西亞非利加を侵略しつゝあるが如きを見て一種の快感を感じざるを得ざるなり。而して彼のアルゼリヤ軍團が既に赫々たる戰功を樹て佛國の上下之に依頼すること頗る厚きの事實を知るに於ては植民地たるや其經營の如何に依りては決して不良少年に終らんとするものに非ず又植民地は果實の如く熟すれば必ず落つるものにも非らざることを感ぜずむば非らざる也。兎に角に植民地中の最も發達したるものに在りては單に植民地自らの利害得失にのみ没頭せず其本國の爲め否帝國全體の名譽と利害との爲めには獨り金錢上の負擔と云はず血稅の負擔をも敢て辭せざるの事實を見る可きなり。

三

英國植民地中の最も進歩したる加奈陀、濠洲、南亞等に比すれば佛蘭西植民地中の隨一たるアルゼリヤは本國との關係を更らに密切ならしむるの方針にて統治せられたりき。即ち佛國は植民地をも漸次に本國に同化せしむるの政策を探り、現にアルゼリヤ植民地よりも少數の元老院議員及下院議員を本國に送らしめつゝあるが如き或は租稅制度就中關稅制度に就きて本國と植民地間の關稅を撤廢し植民地は本國の關稅別を採用して之を他國よりの輸入品に對して賦課しつゝあるが如き或は其軍隊組織に於ても英國植民地に於ける夫れに比して更らに一步を進めたるが加き即ち之なり。從て今回の如き事變の發生に際してもアルゼリヤが其本國の爲めに助力し得る程度は英國の自治植民地に比して遙かに大なるもの有るを認めざるを得ず、殊に英國の自治植民地は其本國人の子孫若くは歐洲人の子孫に依りて樹立せられつゝあるに拘らずアルゼリヤは異人種の多數を占むる植民地なるを思へば佛蘭西が此方面より比較的多大の援助を受けつゝあるは全く其同化主義の働に依るものと斷せざるを得ざるなり。而して此點より云ひば獨逸のアルサス・ローレン及びポーランドの如き孰れも本來の獨逸領土に非ず、其

人種も亦本國人と異なるものなりとは雖も今回の戦争に際し獨逸の兵士として飽くまでカイゼルの爲めに勇戦奮闘しつゝあるが如き。將た奥匈帝國に於て幾多の異人種を交ひたる其軍隊は敢て精銳なりと評するを得ざるは勿論なれども兎に角に國防軍として一通りの働きを爲し得るの事實を以て見れば祖先の異同若くは人種の如何等の問題は今日の國家組織の上に於て迄の大問題たらざることを證明するものと云ふ可し。即ち教育を普及し一國內の異分子をして全體の爲めに奮發努力するは是れやがて彼等自らの名譽と利益とを維持し増進する所以に外ならざる事を自覺せしめ同時に適當なる組織の下に之を指導するに於ては立派に一國の一大勢力たり得ることを示すものなりと云ふ可し。

果して然らば我臺灣若くは朝鮮の如き元と我國の本國の一部を形成したるに非ずして或は支那より之を割讓せしめ或は獨立の王國を併合したるものに外ならずと雖も其人民を問へば同じく黄色人種に屬し。古來文字を同ふし文化を同ふせる關係上之を我に同化するの容易なるは決して獨逸諸國に於ける異分子と同一の談に非らずと云ふ可きなり。即ち臺灣朝鮮の如き植民地に於ては須く同化割

一政策に依りて將來本國の一部と爲す可き確然たる目標の下に施設經營を行はざる可らざるなり。然も臺灣の領有以來略二十年を経過したる今日に於て我政治家の胸中には未だ臺灣を本國の一部と爲す可きものか將た半日本半支那の一種特別なる境域として之を統治す可きものなりや判然たる觀念の存せざるが如きは寧ろ甚だ不可思議なりと評せざるを得ざるなり。朝鮮の場合に於ては殊に然り其人種は全然我と同一にして其根柢に於て何等優劣ある可らず。否過去の歴史に於て朝鮮人が文學技藝に於て吾人の師たりしこと多かりしは云ふまでもなき所にして近世に至り其國勢未だ振はず遂に其獨立を喪失して我國と合併せらるゝに至りしは畢竟其政治の甚だ宜敷きを得ざりしと殖産興業の發達せざりし結果國民的實力の涵養を缺きたりし爲めに外ならずして其國民に先天的に能力の缺乏せるなりと認む可き證據あることなし。從て我國の指導の下に一般教育を普及せしめ殖産興業の根柢を培ふに於ては他日一廉の文明國民たり得可きこと敢て疑なかる可き也。即ち之亦同化主義に依りて立派に我本國の一部たらしむるを得るや明かにして此目的の爲めには朝鮮人に日本語の使用を普及せしむること何

物よりも肝要なるのみならず東洋に於て既に最高の文明に達し歐米人と競争して世界の政局に處し東亞人種の權利を確保し且つ其利益を増進せんが爲めには是非とも我日本帝國の一部として共同の目的の爲め奮闘すること必要なりとの觀念を未來の朝鮮人に鼓吹すること今日の急務なりと考へざるを得ず。

而して既に言語の上に或程度まで同化の目的を達したる曉には進んで彼等の代表者を我帝國議會に送らしむるの方針を探らざる可らず。但し最初より内地に於けると同一割合に由るを必要とせざるは云ふまでもなき所にして唯朝鮮人をして其代表者が直接大日本帝國の國政に參與しつゝありとの信念を抱かしむれば可なりとせんのみ。是れと同時に朝鮮に於ても我國は斷然徵兵制度を實施するの覺悟なかる可らず。人或は最初より本國の一部たらざりし是等の地方より兵士を徵するも果して有用の軍隊を組織せしめ得るや否やを疑ふ者ある可しと雖も此疑問は今回の歐洲戦争に於て立派に其杞憂に過ぎざることを立證したるものと云ふ可し。殊に一國の用兵上に注意を厚ふし例へば獨逸がアルサス・ローレンの兵を以て直ちに佛自戦線に利用せずして之を東部戰場に用ひたるが如き方法を

取るに於ては何等背反的恐れなきのみならず英國の如きは其印度兵を歐洲に送致するや随分無理を犯したる形跡あり。即ち印度内にて最も英政府に嫌焉たる種屬の間より殆んど強制的に徵集したるに拘らず是等の印度兵は又相當の働きを爲しつゝあるを見るべき也。但し英國は印度土人兵を主として歩兵に使用するのみにして砲兵には之を用ひざるの常なるのみならず其上級士官の如きは凡て本國人を以て之に充つるの常なるが故之れ亦事實上に於て格別掛念するに足るものなきなり。殊に奧地利軍隊の如き十有餘種の國語を用ゆる雜然たる民族より成立し甲の聯隊と乙の聯隊とが通信にも不便を感じざる可らざる有様なるに拘らず尙ほ露佛獨の間に介在して一方の雄たるを得るの事實に想到せば朝鮮人及臺灣人の間より組織せられたる軍隊と雖も決して輕蔑す可きものに非らざるを推知するに難からざる可し。

四

國際的競争なる言葉は從來盛に使用せられたる所なれども今世紀に入るに及んで競争的團體の單位は更らに擴大せられて將に民族的乃至人種的たらんとす

る傾向あり。即ち彼のバルカン戦争の如き但しは今回の歐洲戦争の如き孰れも
Volker krieg: War of Nations と稱せらるゝ所以にして各國間の往來交通益々便利を
來し各國民の衣食住の方法、言語風俗習慣等大差なきに至り資本の國際的移動、内
外人の共同企業盛に行はるゝに至るや歴史の若くは血族的に相接近したる國民
間に反目疾視するの念は年と共に薄らぐ可しと雖も然も之と同時に各國民互に
政治上及經濟上に於て優勝の地位に立んと欲するが爲め一方に於ては飽くまで
競争場理に優者たらんとする傾向あり。換言すれば一方に於ては競争を欲し他方
に於ては和親を欲するの念同時に存在するが爲め其相接近せるものは互に和親
すると同時に其相沮隔せるものゝ間には益々其競争を盛ならしむる傾向あり。即
ち大に競争せんが爲めに大に和親するの必要あり。大に和親したるが爲めに一度
競争する場合には其規模愈々大を加ふるに至る道理なり。斯くて恰も求心力と遠
心力とが互に同時に其力を發揮して相矛盾せざるが如く和親的傾向と競争的傾
向は同時に今日の國際政局に働きつゝあるを見る可し。而して其結果は内に和し
て外に競争の現象を呈しつゝあるを疑ふ可らず。即ち獨逸兩國の如き其人種的關

係より殆んど一心同體の形を爲して今日の政局に處しつゝあるが如き將た之等
兩國内に抱合せらるゝ幾多の異種族も更らに相異の程度の大なる他國民に當ら
んが爲めには小異を棄てゝ大同に就き以て自ら護らざる可らざるを自覺しつゝ
あるもの也。若し夫れ此大勢に反し小異を取りて互に相争はんか恰も獨逸聯邦成
立以前の獨逸諸邦の如く徒らに強大なる隣國の足下に蹂躪せらるゝを免れざる
可きなり。然も獨逸兩國の人口を合計せば一億三四千萬に達す可く民族的競争
の單位としては最早少なしと云ふ可らず。即ち東スラブ民族に對して遜色なく西
英佛兩國民を敵として毫も恐るゝ所なしと雖も東西より挾撃せらるゝ場合に於
ては尙ほ聊か不安を感じざる能はざるが故に進んで土耳其をも其同盟に加へた
るに外ならざりしなり。露國に至りては自國人口のみを以て遙に一億萬を越へ、英
佛亦其世界に散在せる植民地と其人口とを合算すれば之れ亦立派なる競争單位
として認むるを得可く。更らに米國に至りては其地理的優勢と國內無盡藏の富源
と現に八千萬を算し將來何程まで増加す可きか殆んど計り知る可らざる人口上
の可能さを以て是れ亦た世界競争場裡に於ける立派なる單位なりと云ふを得可

し。

斯の如く世界の競争單位が其形を擴大し其人口を増加しつゝある以上は其間に介立して一方に雄を占めんと欲する我國の如きも必ずや相當に團體の基礎を擴大せざる可らざるや勿論なり即ち本國內の五千萬同胞のみを以てしては到底外部の競争團體に當る能はざるは云ふまでもなき所なれば、少なくとも近き將來に於て一億の人口を抱有するの帝國となすに非らざれば、一等國として世界の競争場裡に馳聘すること困難なりと云はざるを得ず。されば此目的の爲めには朝鮮及臺灣の拓殖を急ぎ其同化に銳意熱心せざる可らざるは勿論なりと雖も、我國は獨り之のみを以て満足す可きに非らず。更らに同一人種に依つて住居せられ且つ我領土と境を接する滿洲及蒙古の地に一大發展を試みて之をも我に同化せしむるの必要を感じざる能はざるなり。而して朝鮮及臺灣人は云ふに及ばず滿洲及蒙古人種をして日本の指導に従ひ日本人と共同動作を採るは世界の競争場裡に於て最も完全に彼等の權利を保護し其利益を増進する所以の道なることを事實上に覺知せしむる必要ある可し。換言すれば吾人は滿蒙方面に對し我植民政策を更らに

大に進捗せしめざる可らざることを主張するものなり。但し徒らに國力を四散せしむるは鞏固なる國家の基礎を築く所以に非ず。故に臺灣若くは朝鮮に於ける植民的經營の充分其基礎を確立せざる間に漫りに他に進出するは大に愼まざる可らざる所なりと雖も、一方臺灣朝鮮に於て盛に同化事業に其歩を進むると同時に滿蒙に於ては著々他日の豫備的手段を取ること必要なりと云はざるを得ず。而して此目的の爲めには既に南滿鐵道會社の存在するあり、其當局者の心掛如何に依りては近世の南亞植民會社の如き事業を遂行する敢て困難なりと云ふ可らず。又今回の日支協約の結果礦山採掘權居住權農業經營權等を取得したる結果將來に於ける我植民政策の遂行及發展上に多大の便宜を得たるや明かなり、されば唯徒らに紙上の空權を得たるに満足せず須らく國力の許す範圍に於て或は鐵道の布設を實行し或は内地の資本家を招徠して富源の開発に當らしむ可きなり。斯くの如くにして新なる事業の起ると共に我國の智識的移民は漸次滿蒙に入込む者増加するに至る可く續て勞働者階級の如きも亦從て移住するに至る可し。吾人は滿蒙方面に於て最初より勞働を目的とする移民を移植せしめんと欲するの至難な

るを感ぜずむば非ず。此種の移民は主として南北米若くは南洋等に送らざる可らざる筈のものにして苟くも吾人が朝鮮若くは滿蒙の植民政策を云々する以上は進歩したる智識技術及道德的觀念を以て原住民を指導開發し以て彼等をして文明の德澤に浴せしめんとする觀念の伴はざる可らざるは論なき所なり。チムメルマンが植民の目的を論じて

Doch wird als Endzweck der Kolonialpolitik im Grunde heute nicht mehr dieser wirtschaftliche Nutzen der Kolonien, sondern die Verbreitung der Zivilisation, die Schöpfung neuer menschlicher Gesellschaften angesehen, wie das schon Godwin Smith betont hat.

と稱したるが如く單に原住民と勢力に於て競争し賃銀の高下を論ずるが如きは植民の目的に背反するものなりと云ふ可し。されば資本家若くは智識階級が先驅となりて滿蒙の開發に従事すること眞の植民なりと稱す可きなり。而して是等の先驅の下に下層社會の追隨するは敢て非難す可きに非らざる也。要するに今後我國に於て増加す可き人口は朝鮮は云ふに及ばず滿蒙方面に之を導き韓滿蒙を同化して將來の我世界的競争の單位を此大合同の上に置くの必要を感ずるものなり。殊に今回の歐洲戦争に鑑み同化主義は我植民政策上の終局の目的たるべき事を認めざるを得ざる也。

英國捕獲審檢所に於ける獨船智利號事件の檢定(上)

板 倉 卓 造

クリミア戦争以來、六十年間、堅く閉されたる英國捕獲審檢所の門戸は、昨年九月四日、獨船智利號事件の審檢を以て再び開門せられたり。數十年來始めての開廷なりければ、當日法廷内は専門家の傍聽人を以て充滿せられたるは無論、其審檢の模様は、廣く内外に多大の興味を喚起したる所なり。果して智利號事件の審檢は、國際法の上より見るも、又英國々内法の上より見るも、種々の新問題を提供したるに止まらず、檢事總長サー・ジョン・サイモン(今の内務大臣)が、開廷に際して英國捕獲審檢所の沿革、海戦の變遷と捕獲に關する法規の改正、審檢所に於て適用せらるゝ法律等の諸問題に就き、最も興味ある陳述を試みたるは、智利號事件をして、今回の大戦